



## 東洋紙工株式会社

ダンボール屋さんのエコ活動！

（ 2022年度 環境経営レポート ）

【対象期間：2022年5月21日 ～ 2023年5月20日】

ダンボールが大好き



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0009090

作成日：2023年08月18日

## 【目次】

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	13

## □ ごあいさつ

環境活動レポートをご覧いただきありがとうございます。

企業活動をすすめるに当たり、環境保全とりわけ気候変動緩和の取り組み、および適応していくことはさけて通れないと認識しています。

誰かが考えてくれる、自分に関係ないでは済まされないことです。

「ダンボール」素材を加工する当社が率先して、私たちにできることを行い、リサイクル活動やCO2抑制策の開示をし、私たちにできることを

「考えよう!」「実行しよう!」をスローガンに取り組んでいます。

## 環境経営方針

### < 環境経営理念 >

当社は、ダンボールの加工業を通じて社会貢献を図ります。

リサイクルの優等生といわれる素材「ダンボール」を扱っており、資源の大切さをもっとも認識しています。

本業となるダンボールの生産を通じて、気候変動への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的な改善活動に取り組んで参ります。

### < 環境保全への行動指針 >

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 使用原材料の不良率低減による省資源、廃棄物削減の推進をします。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 使用する化学物質の適正管理に努めます。
- 6 . ダンボールに変更可能な製品開発を進めます。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2012年5月20日

改定日：2018年5月20日

代表取締役 田村 耕作

## □ 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
東洋紙工株式会社  
代表取締役 田村 耕作
- (2) 所在地  
本社・工場 大阪府四條畷市西中野一丁目11番32号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 工場長 瀬尾 章二 TEL: 072-878-5541  
担当者 事務部 兵田 和歌子 TEL: 同上
- (4) 事業内容  
ダンボールケースおよび紙器・緩衝材の製造
- (5) 事業の規模  
売上高 312百万円

		本社・工場
従業員	名	20名
延べ床面積	m <sup>2</sup>	1,587 m <sup>2</sup>

- (6) 事業年度 5月21日～ 5月20日

## □ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：	東洋紙工株式会社
対象事業所：	本社・工場
活動：	ダンボールケースおよび紙器・緩衝材の製造

## □ 事業や製品（商品）の紹介

ダンボール加工で62年。内装箱から物流用外装箱まで、用途に応じたパッケージを製作いたします。特注品や試作用のパッケージにも対応いたします。CAD設計によるご提案から量産品までワンストップでお答えします。また、わくわくドキドキする「ダンボールめいろ」や「巨大紙相撲イベント」のお手伝いもしています。幼児向けダンボール工作キットやアーティスト、クリエイター様とのコラボも行っています。



### 一般ダンボールケース

お客様のご要望に合わせて製作いたします。



### 作品入れ「4ツ切り画用紙対応」

収納性を重視した設計となっています。弊社ホームページからご購入可能です。



### 新型コロナウイルス飛沫防止パネル（ユニット型）

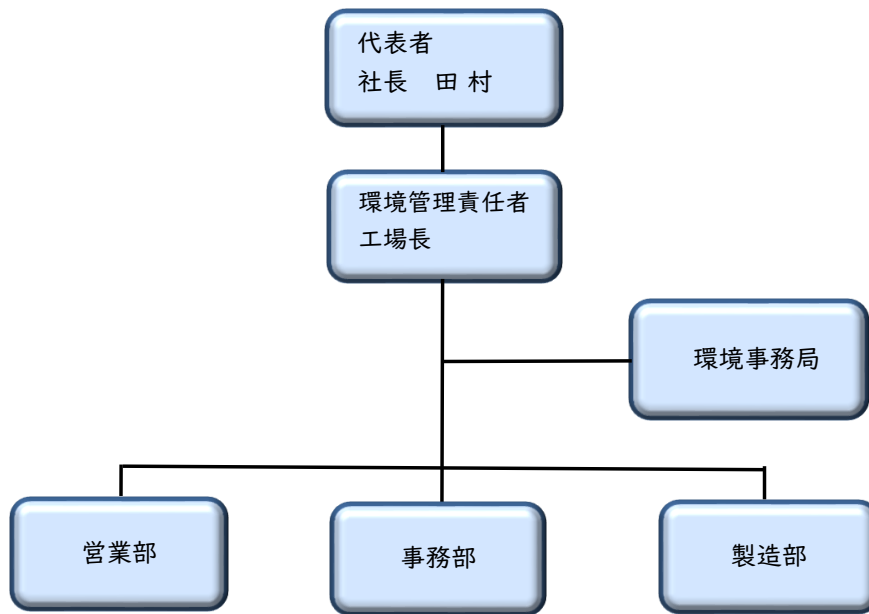


### 紙芝居製作キット

# □ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

制定日：2012年11月1日

更新日：2022年3月23日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）</li> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □ 主な環境負荷の実績

項目	単位	基準2019年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	13,020	12,216	11,889
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	560	551	547
産業廃棄物排出量	kg	1,041	1,641	3,830
総排水量	m <sup>3</sup>	429	666	743

※二酸化炭素排出係数 0.000 kg-CO<sub>2</sub>/kWh リコージャパン(株)平成28年度調整後係数

※2019年11月よりCO<sub>2</sub>フリー契約に変更。

## □ 環境経営目標及びその実績

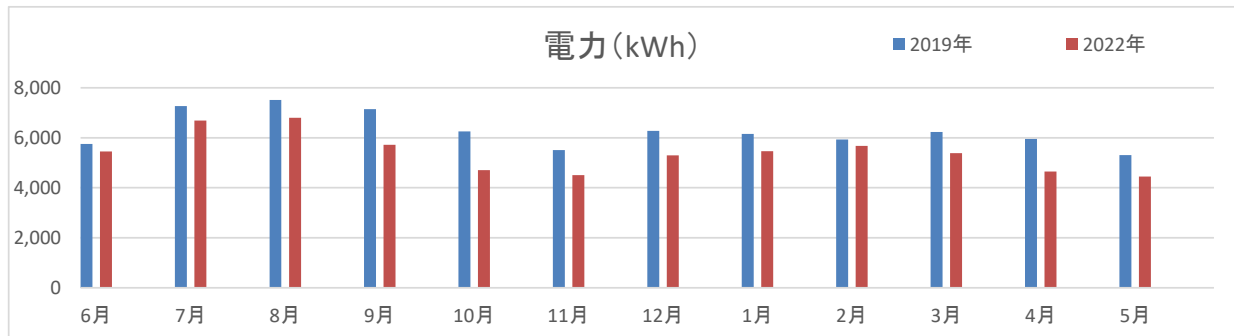
項目		年度	基準値	(2022年度 環境経営レポート)		評価	2023年	2024年
				通期	通期		通期	通期
				(基準年)	(目標)		(実績)	(目標)
電力使用量の削減	kWh		75,321	73,061	64,768	○	72,308	71,555
	基準年度比		2019年	97%	86%		96%	95%
LPGガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>		565	548	578	×	543	537
	基準年度比		2019年	97%	102%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>		12,454	12,081	11,311	○	11,956	11,832
	基準年度比		2019年	97%	91%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>		13,020	12,629	11,889	○	12,499	12,369
一般廃棄物の削減	kg		560	543	547	×	538	532
	基準年度比		2019年	97%	98%		96%	95%
廃プラスチックの削減	kg		346	336	1080	×	332	329
	基準年度比		過去3年平均	97%	312%		96%	95%
廃インキの削減	kg		1313	1248	600	○	1235	1221
	基準年度比		過去3年平均	95%	46%		94%	93%
木くずの削減	t		0.93	0.90	2.15	×	0.89	0.88
	基準年度比		過去3年平均	97%	231%		96%	95%
水道水の削減	m <sup>3</sup>		429	416	743	×	412	408
	基準年度比		2019年	97%	173%		96%	95%
溶剤（シンナー）使用量削減	kg		2.22	2.15	2.89	×	2.131	2.109
	基準年度比		過去3年平均	97%	130%		96%	95%
POC2使用量削減	kg		13.76	13.35	6.88	○	13.21	13.07
	基準年度比		過去3年平均	97%	50%		96%	95%
コピー用紙の削減	枚数		132,500	128,525	107,500	○	124,550	120,575
	基準年度比		2019年	97%	81%		94%	91%
印刷インク購入量 インク集約の提案	行動目標(次項による)							
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)							

※ POC2は、印刷機のインクロールメンテナンス（2ヶ月に1回）を行う時に使用する溶剤。トルエン53%含有

# □ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

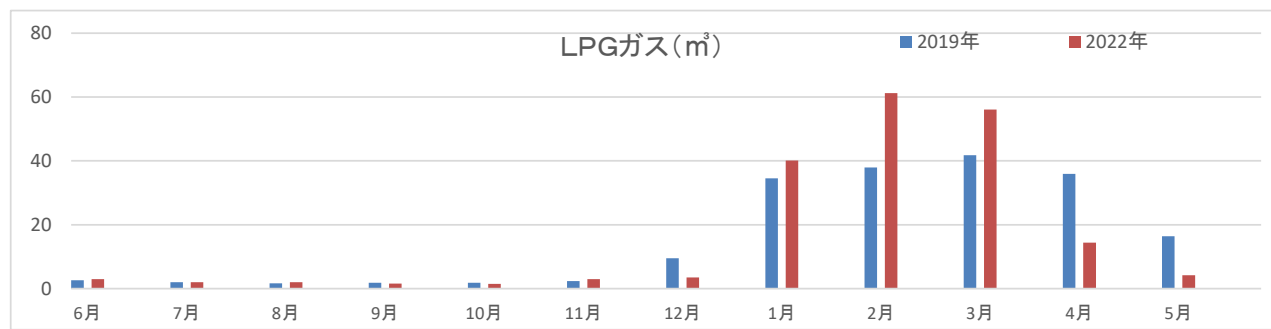
数値目標:○達成 ×未達成

電力使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	・ロシア、ウクライナ問題や円安の影響で、電気代が70%も上がってしまった。 ・バッテリーフォークリフトを新型省エネタイプに変更。蛍光灯を計画的にLEDへ変更、デマンド計の活用、などで電気代の上昇を最小限にできた。
・空調温度の適正化(冷房28℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・昼休みの工場消灯・トイレ・休憩室のこまめな消灯	○	
・夜間、休日はパソコン・プリンターの主電源を切る	×	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



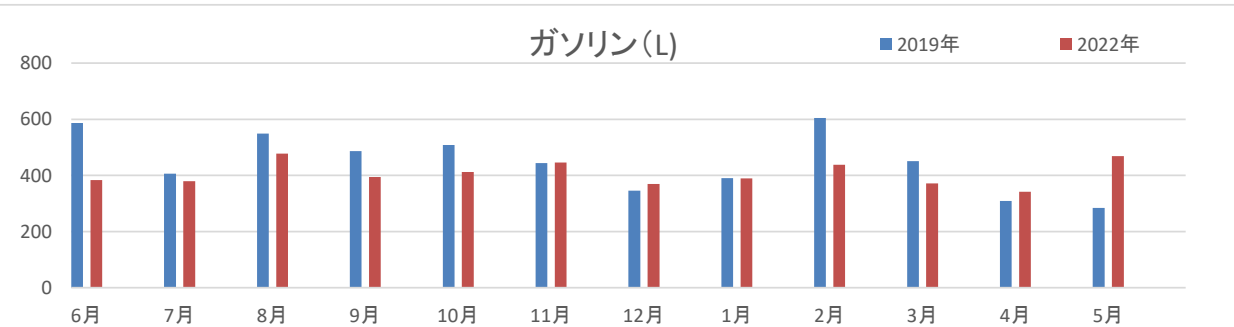
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	5,756	7,270	7,518	7,151	6,259	5,514	6,282	6,151	5,930	6,232	5,949	5,309
2022年	5,449	6,684	6,796	5,715	4,708	4,505	5,295	5,460	5,674	5,386	4,650	4,446

LPGガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	昨年の夏場は目標を達成できていたのに、今期の夏は目標どころか、基準年より大きく増加した。また、冬場の使用量は昨年度基準年を大きく増加し、本年度は通気で12%増加となってしまった。全体として削減できていないので対策を検討すること。
・温水温度の適正化	○	
・お茶沸かしの削減	○	
・ガスストーブのこまめな管理	△	
・ガスボンベと器具の点検	○	



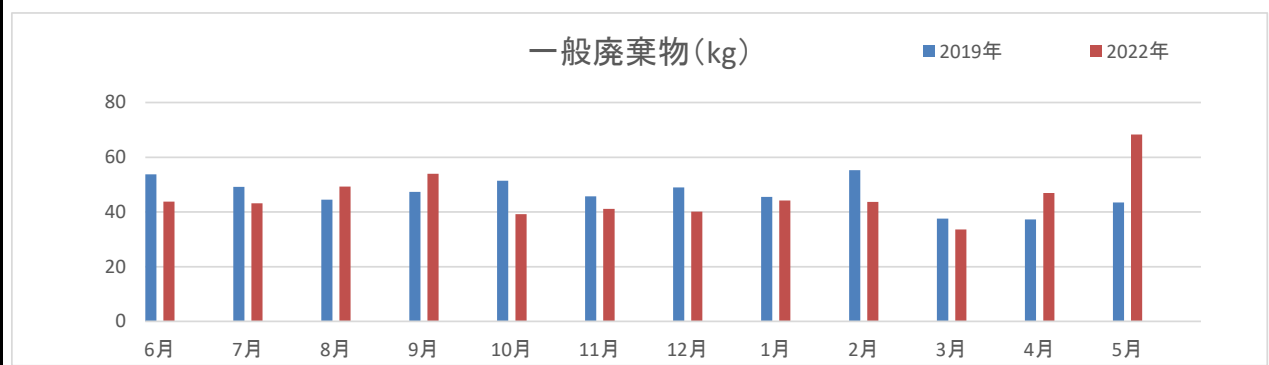
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	3	2	2	2	2	2	10	35	38	42	36	16
2022年	3	2	2	2	2	3	4	40	61	56	14	4

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	新型コロナ感染がオミクロン株になり、身近な人や従業員にも広がった。 そのため、上期は営業訪問活動が少なくなり目標達成できていた。下期は活動が活発になりガソリン燃料が増加したが、目標は達成できた。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	



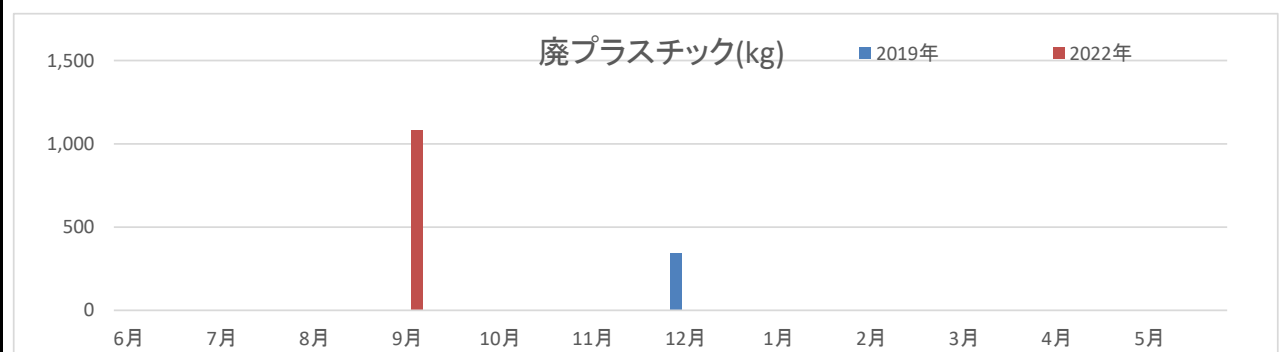
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	586	406	549	487	508	444	346	390	605	451	309	284
2022年	383	380	477	394	413	445	369	389	438	372	342	469

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	基準年より削減できたが、目標にはとどかなかった。昨年度は551.4Kg本年度は547.4Kg。少しずつの削減となっている。分別を徹底し目標達成できるようにする。
・分別の徹底	○	
・食堂ゴミ削減	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・ファイルサーバー導入	○	



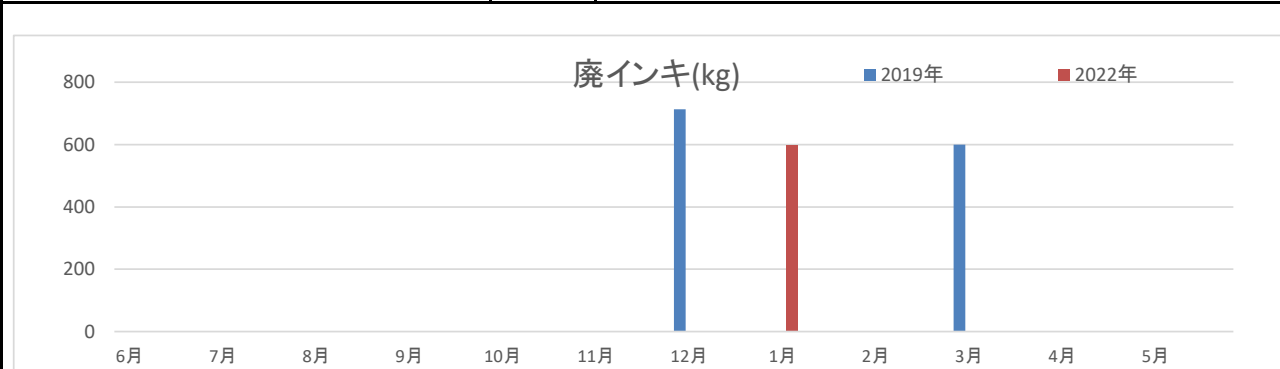
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	54	49	45	47	51	46	49	46	55	38	37	44
2022年	44	43	49	54	39	41	40	44	44	34	47	68

廃プラスチックの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	お客様の商品サイクルが短くなり、廃版点数が増える傾向にあります。 リユース方法も再度検討したい。 産廃は来期に行うことにした。
プラ製パレットの取り扱いを丁寧にする	○	
樹脂製印判の整理をする	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	0	0	0	0	0	0	346	0	0	0	0	0
2022年	0	0	0	1,080	0	0	0	0	0	0	0	0

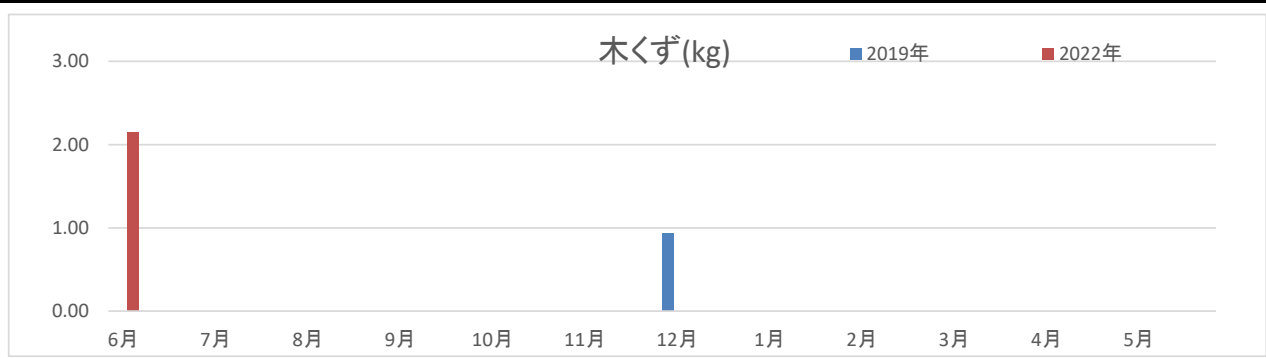
廃インキの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	昨年度と同様に1年で1回600Lの廃液処理で収めることができた。 処理費用が10年前13000円から現在26000円/ドラム缶1本と大幅にアップしている。なお当社で使用しているインクにシンナー等の溶剤は入っていません。
インク替え頻度の削減	○	
マシン内インキの回収の徹底	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	0	0	0	0	0	0	713	0	0	600	0	0
2022年	0	0	0	0	0	0	0	600	0	0	0	0

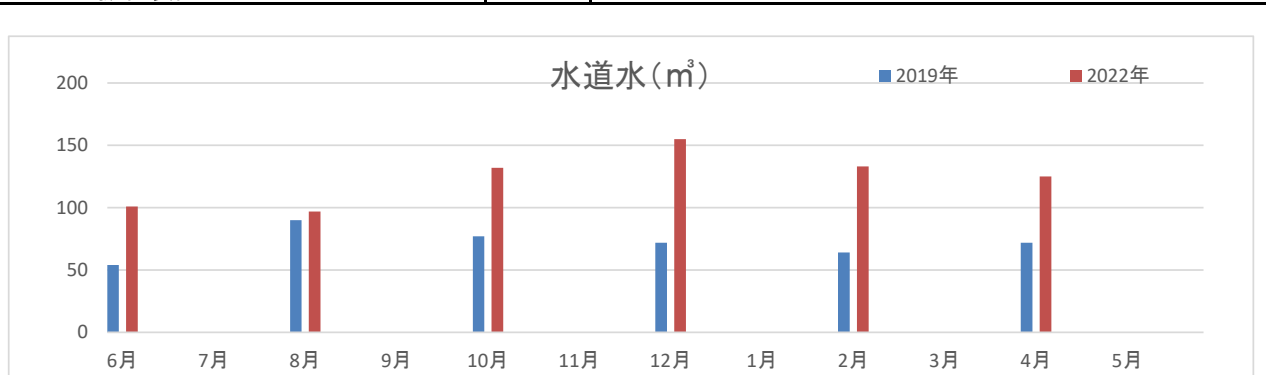


木くずの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	昨年度は木くずの廃棄は0でしたが、今期2年半溜まった抜き型(木型)を処分。 4パレット分となり、単年度としては目標を達成できなかった。 木製パレットのリユース(銭湯の燃料)や、紙管のリユース(カレンダー発送筒)の用途がわかった。
生産用抜型の整理	○	
木くずのリユース先の開拓	×	



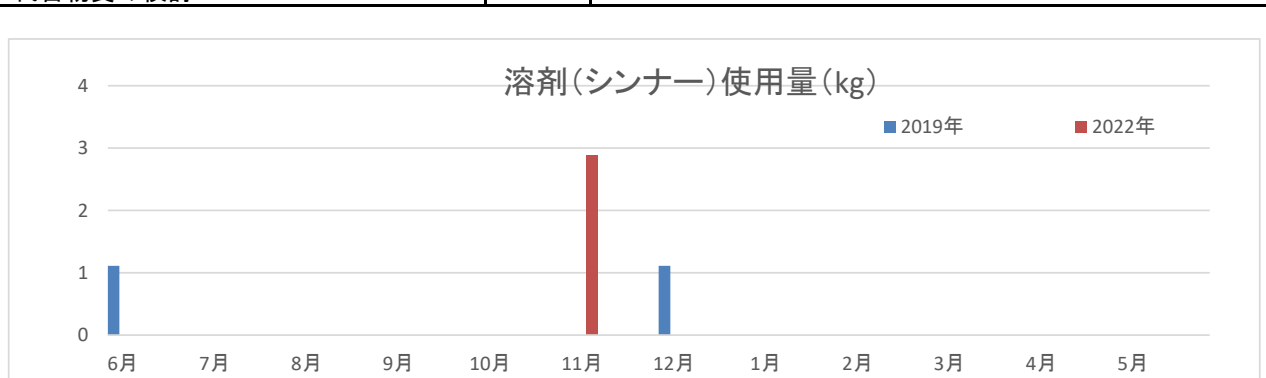
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.93	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2022年	2.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	印刷機洗浄場所の水道パッキンが少し弱く、微量の水が漏れている。 パッキンまたは蛇口栓の交換を検討したい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・自動水栓取り付け	×	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	54	0	90	0	77	0	72	0	64	0	72	0
2022年	101	0	97	0	132	0	155	0	133	0	125	0

溶剤(シンナー)使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	昨年の代用品は、洗浄効果が出ないためもとに戻した。新たな代表品を模索中。 1年間で1回しか注文しなかったが、発注単位が大きくなり目標より増加してしまった。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	×	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2022年	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0

POC2使用量削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	今期はメンテナンス回数が多かったものの、最小限の使用量を心がけたため目標を達成できた。
・有害性物質の表示の徹底		○	
・容器の蓋の徹底		○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制		○	
・代替物質の検討		×	

POC2使用量(kg)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	7	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
2022年	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コピー用紙の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	必要以上のコピーをしない。 最もよく使うA4用紙を両面使いを実施。 さらにプリント量を削減したい。 ファイルサーバー活用を更に進める。
・電子データ化の推進		×	
・裏紙のリユースを計る		○	
・複合機入替に伴い印刷ミスを減らす (保留印刷機能)		○	

2019年コピー用紙使用量

2021年コピー用紙使用量

2019年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
A3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A4	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	5,000	20,000	0	0	10,000	5,000	5,000
B4	5,000	2,500	2,500	5,000	2,500	2,500	7,500	0	2,500	5,000	5,000	2,500
B5	0	0	2,500	0	2,500	0	5,000	0	0	0	0	0

2022年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
A3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A4	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	2,500	5,000
B4	2,500	5,000	2,500	2,500	2,500	5,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	5,000
B5	0	0	0	2,500	0	2,500	0	2,500	0	2,500	0	0

印刷インク購入量		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・現時点のインク種類数を把握		○	生産量の減少もあるが、色の集約(色数の削減)などの効果が出てインク購入量を削減できた。
・不要インクの廃棄・インクラックの解放		○	

印刷インク購入量 (Kg)

年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	60	40	35	35	60	30	60	35	65	45	65	35
2022年	25	15	40	40	45	50	45	40	40	45	60	25

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	60	40	35	35	60	30	60	35	65	45	65	35
2022年	25	15	40	40	45	50	45	40	40	45	60	25

環境に配慮した生産活動		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減・稼働率向上		○	地元では、子ども食堂の配布ケースなどに協力。また、新型コロナで中止となっていた展示会が再開されました。弊社は積極的に参加しリサイクル素材のダンボールの特徴を広報した。SDGsにもつながる活動にしていきたい。
・環境活動		○	
・製品そのものがリサイクル品なので、展示会にてダンボールの特徴を広報していきたい。		○	
・目標は年4回以上イベント、展示会を行う。		○	

展示会出展



ビジネスチャンス発掘フェア



会場入口のようす



ダンボール製品

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木くず等)
フロン排出抑制法	業務用空調機
消防法	シンナーの適正管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## □外部からの環境上の苦情・要請等

2022年度は発生しませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2023年8月2日

新型コロナウイルスがオミクロン株となり感染がまたたく間に拡がりました。当社でもついに濃厚接触者だけでなく、感染者が発生する事態となりました。その8月に再び「ダンボール製飛沫防止パネル」100台の追加注文を地元市役所から受注することとなりました。ダンボール製なら廃棄時に産業廃棄物とならないことが一番の理由でした。あらためてリサイクルの比率が高いダンボール製造に携わっていることに誇りとやりがいを感じる瞬間でした。

環境への取組結果では「ガス」と「水道」が基準年に対して増加している事態となっています。昨今原材料はもちろんあらゆるものが値上がりとなっており、削減は急務と考えています。「ガス」は冬場のストーブの使用方法を検討すること。「水道」はじわじわと使用量が増加しています。原因が蛇口パッキンの老朽化(3箇所)と判明したので至急交換すること。

前々年度よりスタートした「納品書の市販A4用紙化」は大変効果が高かったので、今後も用紙の統一を推進する。用紙代も在庫も削減すること。引き続き従業員一人ひとりが環境への意識を高められるようにしたいと思います。また、以前からの課題であるコピー用紙はまだまだ削減の余地が残っていると考えています。もっとITやファイルサーバーを活用しDXを進めたい。そして引き続き社内書類を電子ファイル化し、書類ロッカーの削減をめざします。代表者の私を含めて働き方も見直しが必要と考えています。コロナ禍となってから、ますます「持続可能な社会」や「環境にやさしい」というキーワードが増えてまいりました。そして、ダンボールという素材があらためて注目されています。当社は今まで以上にWEB、SNSおよび展示会を活用し素材の優位性をアピールして行きたいと考えています。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

工場整備やエコフォークリフトの導入

12 つくる責任  
つかう責任  
∞

2022年06月30日

工場雨樋の清掃

バッテリーフォークリフト更新



最新の省エネ型に更新

工場周辺の草刈りと溝掃除・美観と安全対策

2022年7月17日

11 住み続けられる  
まちづくりを  
🏠



2週間ほどですぐに雑草が生えてくる





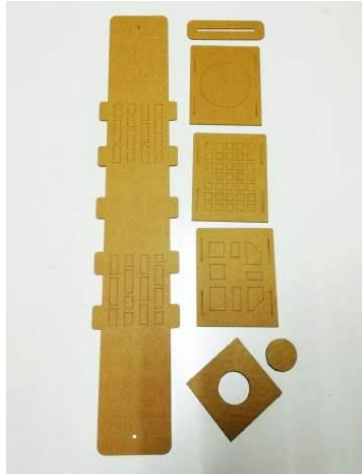
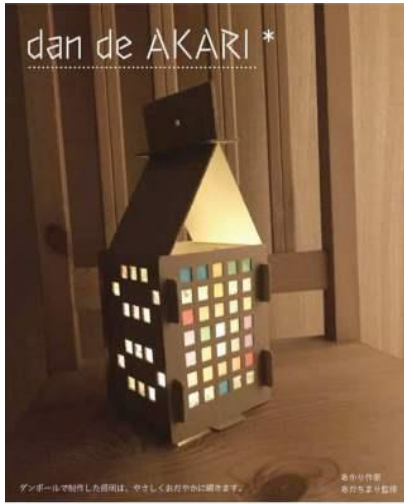
2022年7月23日

児童施設さんでダンボール工作ワークショップ開催

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを



子どもの想像と創造と笑顔の記録  
ダンボールを使ったワークショップです。ダンボールのほかに、色紙や画紙を使って作る楽しみましょう！  
[dan-goistaff]

3 すべての人に健康と福祉を

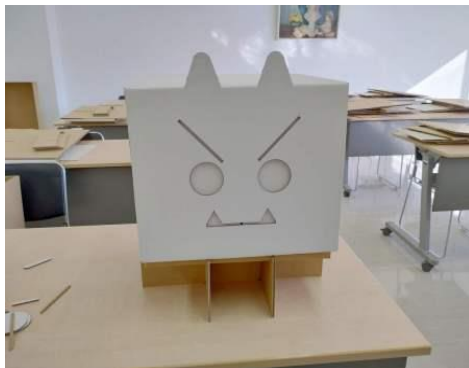
4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

2022年11月

生ゴミを分解して堆肥化するダンボールコンポストの取り組みに協力

茨木市の環境フェアに協力



茨木市の「茨木童子」モチーフコンポスト

家庭から出る焼却ゴミの半分以上が生ゴミです。生ゴミを分解して堆肥にできます。

2022年10月

四條畷市地域経済活性化

11 住み続けられるまちづくりを

**1000円メニュー**  
**ダンボール製品セット**

- ①「ダンボール製4つ切画用紙入れ3個」
- ②「ダンボール製フレームスタンドキット4個セット」
- ③「ダンボール製・紙芝居製作キット1個」

**各1000円**  
**@東洋紙工株式会社**



地域内経済の活性化対策として実施されました。当社も事業者として参加しました。

2022年10

門真ラブリーフェスタの  
ビューティーマルシェブースで

1 費目をなくそう 	2 損耗をゼロに 	11 住み分けられるまちづくりを 
--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------



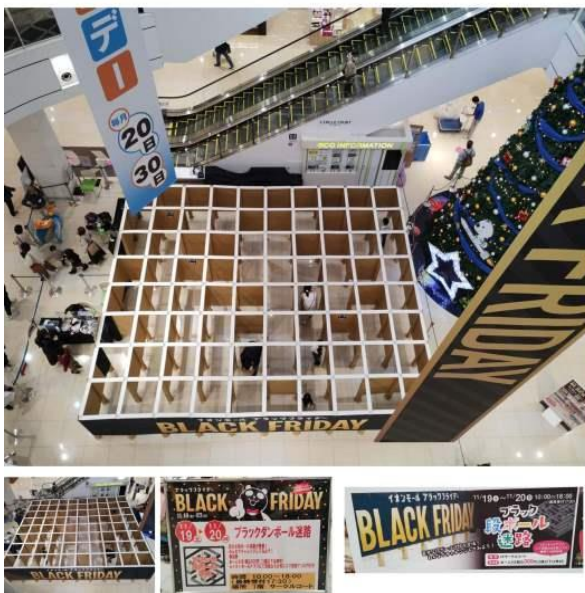
2022年11月19日

商業施設で「ダンボールめいろ」

12 つくる責任  
つなぐ責任



イオンモール和歌山 2022年11月19・20日ブラックフライデー



ダンボールでできた巨大迷路ということでご利用いただきました。大勢の皆さんに、ダンボールの特徴を知ってもらうことができました。



「なわて環境フォーラム」出展

11 信を届けられるまちづくりを 

12 つくる責任つかう責任 



**なわて環境フォーラム** 令和5年 2/19 (日)

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施します。  
状況によって、開催内容を変更または中止する場合は市ホームページでお知らせします。

10:00~ 15:00

場所：四條畷市市民総合センター

市民ホール 映画上映(字幕つき)

入場券配布：1月16日(月)から  
市役所生活環境課・市立公民館・グリーンホール出展  
おひとりおひとり4枚まで

無料・先着配布(各回350名)

ご年配の部	ご後の部
10:00~ 前席	12:50~ 前席
10:20~ オンラインシテ	13:10~ 14:00 正席
10:50~ 11:40 正席	

各コーナーの紹介

1階フロア  
- 食器・フードドライブ(正面入口前)  
- 市内小学生によるオリジナルポスター入選作品展(ロビー)  
- 環境(生活の環境)(展示ホール)  
- コム収集車(北側駐車場付近)

2階・3階フロア  
- 環境部展示(図書室)  
- 子ども環境展(会議室)  
- コムおもちゃづくり(図書室)  
- 絵画作品展  
- 小型家電回収

ガリレオさんにチャレンジ  
13:00~14:30  
3階図書室

玉ころもちづくり  
対象：市内小学生  
定員：先着20名  
参加費：300円  
申込み：1月16日(月)から  
参加費を添えて市立公民館まで(※電話予約可)

※市民総合センターの駐車場はアクセス困難な場所のため利用できません。お車でのご来場ください。



四條畷市役所-(生活環境課主催)  
環境のこと・ゴミのこと・リサイクルのこと  
などたくさんの展示がされました。



東洋紙工株式会社は、リサイクルの優等生であるダンボールを加工し、ご利用いただくことで社会とつながり、持続可能な社会の実現に向けて進んでまいります。当社は、世界共通の目標であるSDGsに掲げられた目標の達成に向けて、事業活動を通じて貢献していきたいと考えております。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

SDGsとは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称で、2015年9月に、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択されたものです。SDGsは「すべての人々にとってより良い世界をつくる」ことを目標に、その実現に向けて全ての国連加盟国に取組みが求められるとともに、政府だけではなく企業にも主体的に取り組むことが求められています。